

宮川

宮川の清水は、大国主命が降臨した聖なる本宮山の山頂から流れてきます。宮川の水はとても澄んでいるので、この水でお茶を淹れることができます。「命を与える川」としても知られる宮川は、農地や漁場に養分を与えながら太平洋へと流れていきます。

小國神社は日本の神社にしては比較的珍しく、川沿いにあります。水は神道では浄化という重要な役割を果たし、小國神社の神職は毎月 6 日に宮川の中で儀式を行います。この儀式は誰でも自由に観覧できます。

宮川は憩いの場所でもあります。川沿いにはイロハモミジなどの落葉樹が並んでいて、鮮やかな緑の葉は秋になると色とりどりに見事に紅葉します。晴れた日には、家族づれが浅瀬で川遊びを楽しんでいることが多く、川岸の散歩や木陰でのピクニックにやって来る人々もいます。